

請求の範囲

- [請求項1] 端部を胃に留置し経管的に栄養を体内に補給するための医療用チューブの位置を確認する医療用チューブ位置確認システムであって、
 入射端部から入射する光を導光して出射端部から出射するように構成された導光体であって、前記出射端部が胃の内部に配置されるように医療用チューブ内に挿入可能に構成される導光体と、
 前記導光体の前記入射端部に光学的に接続され、生体を透過する波長を含む光を発する光源と、
 を備えることを特徴とする医療用チューブ位置確認システム。
- [請求項2] 前記光源は、胃の内部から体外へ光が透過するために必要な第1強度以上であって、且つ、肺及び気管の内部から体外へ光が透過するために必要な第2強度より小さい強度の光を発するように設定されている、請求項1に記載の医療用チューブ位置確認システム。
- [請求項3] 前記導光体の前記出射端部から出射されて生体を透過した光に少なくとも基づいて生体を撮像する撮像部を更に備える、請求項1又は2に記載の医療用チューブ位置確認システム。
- [請求項4] 前記撮像部が生体を撮像することにより生成された画像データを記憶する画像データ記憶部を更に備える、請求項3に記載の医療用チューブ位置確認システム。
- [請求項5] 端部を胃に留置し経管的に栄養を体内に補給するための医療用チューブの位置を確認する方法であって、
 入射端部から入射する光を導光して出射端部から出射するように構成された導光体を、前記出射端部から先に所定の長さだけ前記医療用チューブ内に挿入するステップと、
 生体を透過する波長を含む光を発する光源を、前記導光体の前記入射端部に光学的に接続するステップと、
 前記光源を発光させるステップと、を含むことを特徴とする方法。